

働くとは・・・

NHK ハートネット TV
「障害者の就労支援はいま」
・こわれゆく【福祉】
・よりよく働くために
を受けて

日時

2026 年

3月1日(日)

14:00 ~ 16:30

(受付 13:45~)

場所

箕面市民会館
2階 大会議室1

ウラもみてね♪



会場

参加協力費

500円

介護者は無料。

2026年2月9日・10日に放送されたNHKハートネットTV特集「障害者の就労支援はいま」1日目「こわれゆく“福祉”」と2日目「よりよく働くために～」を受けて、緊急集会を開催します。

放送を見ながら「また、あるあるやな〜」と余裕をかましてられませんでした。様々な方法で声を上げている活動がある中で、「わたし」単体が声を出したところで…と、どこかあきらめていたことに気が付きました。一緒にこんな状況を変えていきたい。そんな思いをこめて開催します。

共に話し、これからを考えて動いていきませんか？
ぜひご参加ください。



主催：NPO 法人共同連（関西ニューブロック）

共催：箕面市障害者共働事業所 たんぽぽ

協力：NPO 法人プラス We

参加申込書 FAXは裏をご覧ください。

お問い合わせ 072 (739) 6684 (担当：永田)

kyodorenkansainew@gmail.com

元気じゃなくてもいい!
キラキラしてなくてもいい!
まいにちを暮らし働くことを
わたしを
真ん中において
まんまやっていこお!!



*懇親会 (定員 20 名) : 17:00~19:30

2000円 飲み物別 @+WE LAB 徒歩10分
箕面市牧落 2-9-12

スペシャルゲスト

市川 亨 さん (共同通信社・データ調査報道部 編集委員)



オンライン参加も
できます。
こちらに
参加申し込み
お願いします。



緊急集会 26

この会の思い・・・

共同連では、機関紙れざみ 149 号（2014 年 9 月 28 日発行）特集「深まる悪しき A 型問題 もう放置できない」を発行し、厚生労働省や様々な場で 9 年前から声を上げてきました。

「働く」とは何か、障害ある人の働く場をともにすすめてきた事業所と一緒に話を重ね各々の地域でも発信してきました。

その後、今から 3 年前「北合同ユニオン」の鈴木耕生さんから、番組でも取り上げられた「絆」問題について、障害ある人が劣悪な環境で働かされている状況の報告を受け、集会を行い、昨年度は大阪で全国大会のテーマを「切らへん、分けへん、共に働くなってええやん！～一人一人の「暮らし」と「働く」が金儲けのネタになっている、どないしよう！？」を開催しました。

記念講演は「雇用率を売買する障害者雇用率ビジネスの問題点」と題し市川 亨 さんに講演いただきました。大学生の参加者から「マジやばいな」と感想をもらいました。

2014 年から問題となっていた悪しき A 型事

業所は、国の制度改正の後、閉所したところもありましたが、いまだ根強く存在し、また障害者雇用率ビジネスなどに代表されるように、「障害者の働く」、がビジネスの商材として国や自治体を含め、新興産業のひとつとして大々的に進められています。

私たち自身も制度や社会情勢の波に翻弄され、本来めざしてきた「共に働く」在り方を見失うことがないように、この状況に向き合っていかなければならないと考えています。

こういった現状を踏まえ、今一度、原点に立ち返り、「共に働く」を問い直し、そしてこれからをいかに切り拓くかを語り合い、この緊急集会の中で、今どう歪められているのか？一人ひとりが「わたし」を真ん中にとらえることができる社会をどう創っていくのか、まず声をともに上げていく根っこをつくっていきたい・・・

二度と人がコマのように扱われない、一人ひとりが大切に働きあう景色をつくっていきませんか？ぜひご参加を！

●タイムスケジュール *当日変更する場合があります。ご了承ください。

14:00～スタート

14:10～緊急報告：市川 亨 さん（共同通信社・データ調査報道部 編集委員）

14:40～鼎談 酒井京子さん（大阪市職業リハビリテーションセンター所長
全国就業支援ネットワーク 理事）

鈴木耕生さん（北大阪合同労働組合 書記長）

市川 亨 さん 進行：白杉滋朗（共同連）

15:40 休憩

15:50～セッション これからどうする？会場参加者と（質疑応答含める）

16:25～ 閉会 挨拶井上康（共同連副代表）

16:30 終了予定

17:00～懇親会



参加申込



共同連とは

1984 年「差別とたたかう共同体全国連合」として結成。

福祉施設で、指導する・される、支援する・支援されるといった関係を否定し、誰もがそれぞれの力を出し合って助け合って働くことをモットーとしている。

現在、「障害者が働きやすい」というこれまでのスタンスからさらに前進し、福祉の範疇をこえた「誰もが働きやすい」社会、あるべき社会の姿をめざすための大きな柱として「社会的事業所」を提唱。誰もが、地域で共に生き、共に働ける社会の実現に向けて活動しています。

●参加申込書 FAX 072 (739) 6685 *参加のお申込みは上記QRコードからもできます！

お名前	所属団体
住所	
TEL	FAX
E-MAIL	@
懇親会（2000 円）	参加 ・ 不参加

*懇親会は先着 20 名までで締め切ります。
ご了承ください。

お問い合わせ 072 (739) 6684 (担当：永田)